

事務事業チェックシート

事務事業No 168 事業名 斎場運営事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	7	健康で元気に暮らせる環境づくり
施策	3	生活衛生対策の推進
取組方針	4	斎場、今福霊園の適切な改修、整備

事業種別	継続	
事業期間	昭和60年(現施設)～	
事業実施の根拠法令	墓地、埋葬等に関する法律、和歌山県条例、関係行政規則	
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	保険総務課	坂東 貞次
関連課	なし	

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		保健衛生費	
	目		斎場費	
	大事業		斎場事業	
	事項		斎場運営事業	

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的 (「誰・何」をどういう状態にする) ための事業か)	事業内容				
	対象者を斎場使用者とし、人生の終焉を迎える場であることから、その儀を厳かに行えるよう安定的に運営する。	市民生活の衛生保持を図るため、火葬業務を円滑に遂行し、又火葬に伴う付随業務として式場・待合室・霊安室の貸出を行うことで市民サービスに寄与する。				
実施内容		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		市民生活の衛生保持を図るため、火葬業務を円滑に遂行し、又火葬に伴う付随業務として式場・待合室・霊安室の貸出を行うことで市民サービスに寄与する。	市民生活の衛生保持を図るため、火葬業務を円滑に遂行し、又火葬に伴う付随業務として式場・待合室・霊安室の貸出を行うことで市民サービスに寄与する。	市民生活の衛生保持を図るため、火葬業務を円滑に遂行し、又火葬に伴う付随業務として式場・待合室・霊安室の貸出を行うことで市民サービスに寄与する。	市民生活の衛生保持を図るため、火葬業務を円滑に遂行し、又火葬に伴う付随業務として式場・待合室・霊安室の貸出を行うことで市民サービスに寄与する。	市民生活の衛生保持を図るため、火葬業務を円滑に遂行し、又火葬に伴う付随業務として式場・待合室・霊安室の貸出を行うことで市民サービスに寄与する。

2 事業コスト

事業費等 (千円)	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	140,247	142,156	148,784	139,974	149,708	133,654	141,720		141,720	
伸び率 (%)	-	-	6.1%	▲1.5%	0.6%	▲4.5%	▲5.3%	▲100.0%	0.0%	-
人件費	正規職員	10,102	10,213	10,213	9,902	9,902	10,668	10,210	10,210	
	正規職員以外	1,504	1,703	1,703	1,639	1,639	1,766	1,783	1,783	
	小計	11,606	11,916	11,916	11,541	11,541	12,434	11,993	11,993	
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他	60,310	61,152	60,831	58,995	61,453	60,877	61,335		61,335	
一般財源 (税等)	79,937	81,004	87,953	80,979	88,255	72,777	80,385		80,385	
所要人数 (人)	正規職員	1.35	1.34	1.34	1.33	1.33	1.34	1.34	1.34	
	正規職員以外	0.85	0.95	0.95	0.95	0.95	0.95	0.95	0.95	
主な予算内訳	業務用燃料費 34,500千円		光熱水費 22,955千円		管理委託料 83,102千円					

3 目標及び実績

指標	指標名	単位		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
				目標値	実績値	達成度 (%)	目標値	実績値
活動指標	火葬件数	件	目標値					
			実績値	4,851	4,716	4,876		
			達成度 (%)					
活動指標	貸出件数	件	目標値					
			実績値	1,199	1,192	1,306		
			達成度 (%)					
成果指標			目標値					
			実績値					
			達成度 (%)					
			目標値					
			実績値					
			達成度 (%)					

4 事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)		達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>火葬業務及び付随業務としての式場・待合室・霊安室の貸出業務を行うことにより、人生最終儀礼としての葬送儀礼の重要な部分を担っている。人生の最終儀礼である火葬等が厳かに滞りなく執行されるように、さらに気を配り、また、御心痛の御遺族の皆様が少しでも心を和ませることのできる施設を目指すとともに、地域住民の皆様に違和感を感じさせないよう斎場のイメージアップを図っていく。</p>
見直し・改善内容	